

Yahoo!防災速報アプリの「災害マップ」機能で被災地の最前線で活動する団体や報道機関などによる災害状況の投稿受付を開始

ヤフー株式会社

空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”

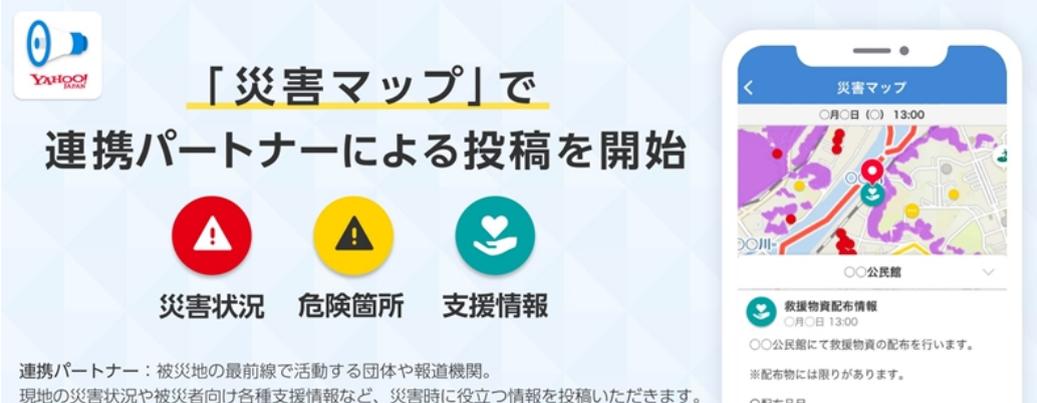
中京テレビ放送株式会社

～ 現地の災害状況や被災者向け各種支援情報など、災害時に役立つ情報を投稿 テレビ局などの報道機関による災害報道時における「災害マップ」の活用も開始 ～

[「Yahoo!防災速報」のアップデートお知らせページ](#)

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）が提供する「Yahoo!防災速報」アプリ（iOS版、Android版）は、災害状況をユーザー同士が共有できる機能「災害マップ」で、被災地で救助活動を行うNPOなどの団体や、被災状況を取材する報道機関などからの情報投稿受付を本日から開始します。また、テレビ局などの報道機関と連携し、ユーザーから寄せられた「災害マップ」の投稿内容を災害報道の一環として発信する取り組みもあわせて開始します。まず、NPOでは「空飛ぶ捜索医療団」（※1）、報道機関では愛知・岐阜・三重エリアの情報について「中京テレビ放送株式会社」との連携を開始し、今後さまざまな団体や企業との連携を拡大していきます。

※1：「[空飛ぶ捜索医療団](#)」（外部リンク）は、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン、特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンス・ジャパン（A-PADジャパン）、公益社団法人Civic Forceの3団体により運営されています。



**「災害マップ」で
連携パートナーによる投稿を開始**

災害状況 危険箇所 支援情報

連携パートナー：被災地の最前線で活動する団体や報道機関。
現地の災害状況や被災者向け各種支援情報など、災害時に役立つ情報を投稿いただけます。

救護物資配布情報
○月○日 13:00
○公民館にて救護物資の配布を行います。
※配布物には限りがあります。
○配布品目

Yahoo! JAPANは、早期に災害の状況を知り、避難判断に役立てていただくことを目的に、自

治体や気象庁などの公的機関から発信される情報だけではなく、ユーザー同士が現在地の災害状況を共有できる機能として、今年3月に「Yahoo!防災速報」において、「災害マップ」正式版の提供を開始しました（※2）。今年の7月に九州や東北などの広範囲で発生した「令和2年7月豪雨」では、約1カ月間で「災害マップ」上で災害状況が7万8千件以上、停電などのライフライン状況が33万件以上投稿され、全国各地でたくさんのユーザー同士が身の回りで発生している川の氾濫や増水、強風などの状況をリアルタイムに共有し合いました。

これまで、個人のユーザーのみが投稿できた「災害マップ」において、新たにNPOなどの団体や報道機関をはじめとする企業からの投稿が可能になるため、ユーザーは被災地の最前線で災害救助を行っている団体や、現地の最新状況取材する報道機関などが持つ、避難所関連情報や各種支援情報、被災状況などが得られるようになります。事前にYahoo! JAPANとの「災害マップ」パートナーに関する契約を締結した団体や企業のみが「災害マップ」に投稿できるため、ユーザーは信頼性の高い情報として、災害時の行動に役立てられます。今後は、地域の防災関係者や公的機関などからの投稿にも対応できるように、投稿者の対象を広げていく予定です。

また、テレビ局などの報道機関と連携し、発災時にユーザーが「災害マップ」で投稿している情報を、災害報道に利用する取り組みも開始します。これまではスマートフォンを保有し、「Yahoo!防災速報」を利用しているユーザーのみが「災害マップ」の情報を閲覧できましたが、さまざまな報道機関と連携することで、テレビなどのメディアを通じてより幅広い世代が、身近で発生しているきめ細かい災害状況を知ることができるようになります。

Yahoo! JAPANは今後もインターネットを活用し、企業や団体の枠を越えて、災害が多数発生する日本の社会課題に取り組んでいきます。

※2：「Yahoo!防災速報」アプリ、ユーザー同士で災害状況を共有し、危険をいち早く確認できる機能「災害マップ」の正式版を提供開始（2020年3月10日発表）

■NPOや報道機関などからの投稿イメージ



■報道機関による災害報道での「災害マップ」活用イメージ



テレビ放送イメージ

■参考：令和2年7月豪雨で実際にユーザーが投稿した内容（2020年7月6日）



■「Yahoo!防災速報」について

利用者数2,000万（※3）を突破したスマートフォン向け防災通知アプリ「Yahoo!防災速報」は、緊急地震速報や豪雨予報、避難情報など、ユーザーの安全に役立つ情報を配信するサービスです。また、ユーザーが日頃から災害に備えられるように、防災関連情報をまとめた「防災手帳」機能も搭載しています。

※3：2020年9月24日時点